

TOEIC L&R オンライン試験と GTEC テストの相関関係に関する一考察

寺西 雅子・大年 順子・剣持 淑・荻野 勝

An Analysis on the Correlation between TOEIC L&R Online Test and GTEC Test

TERANISHI Masako, OTOSHI Junko, KENMOTSU Yoshi, OGINO Masaru

要旨

本研究では、TOEIC L&R オンライン試験と GTEC Academic 2 技能テストのスコアの相関分析を行った結果を考察し、加えて、岡山大学が独自に開発した Can-Do リストを用いたアンケート結果も報告する。2021 年 4 月に、岡山大学入学者 2258 名が全学統一 GTEC 2 技能テストを受験し、そのうち 96 名が TOEIC L&R オンライン試験を受験した。TOEIC L&R オンライン試験の総合得点と GTEC 2 技能テストの総合得点の相関分析では、中程度の相関が認められた。さらに、約 2300 名の大学入学時における英語レベルを経年比較に基づき考察すると、従来の TOEIC L&R 試験（マークシート式）と TOEIC L&R オンライン試験では、TOEIC L&R オンライン試験のスコアが高めに出る傾向が確認された。コロナ禍において、オンライン試験の需要が高まる中、2020 年 4 月から実施できるようになった TOEIC L&R オンライン試験が、今後、大学生の英語力を測る新たな指標としての外部検定試験の候補となるかどうか検討することを目的として、GTEC テストと比較しながら詳細に報告する。

キーワード TOEIC オンライン試験、GTEC、Can-Do リスト、自己評価

1. はじめに

岡山大学では、2018 年度入学者から、入学時 4 月に、新入生の英語力の把握および習熟度別クラス分けを目的として、全学統一 GTEC Academic 2 技能テストを実施している。しかし、GTEC は学生にも教員にも普段なじみがないため、GTEC スコアがどの程度の英語力を意味するのか、イメージしにくいところがあった。そこで、英語力を測る新たな指標としての外部検定試験のひとつとして、TOEIC L&R オンライン試験が候補になりうるかどうかを調べることになった。選んだ理由は、スコアが単位認定にも利用される場合には教室での受験を基本とするが、近年の感染症の状況から、自宅受験も可能な外部検定試験であること、さらに、4 月第 2 週に開講する英語必修科目の習熟度別クラス分けに利用するため、試験結果がすぐに大学に届くという条件も加味したことによる。今回の調査での受験料については、大学で予算をつけていただいた。GTEC テストと比較しつつ、TOEIC オンライン試験が、英語

力を測る指標としての外部検定試験のひとつになりうるかどうか検討するための準備として、2021 年度の必修科目の中から習熟度の異なるサンプルグループを選び、履修学生に、4 月中に、TOEIC オンライン試験を自宅受験してもらった。

2. TOEIC オンライン試験と GTEC テストの実施

2.1 実施時期、実施方法および実施対象者

GTEC テストは、2021 年 4 月 3 日-7 日の間に実施され 2021 年度入学者 2258 名がオンラインにて自宅受験した。TOEIC オンライン試験は、4 月 20 日-27 日の間に実施され 1 年生必修クラスより抽出した 96 名が自宅受験した。クラスの抽出方法については、教養英語必修クラスの社会系、自然系、生命系の 3 つの系のうち自然系の 7 クラスから、GTEC スコアに基づいたクラス分けの順位のうち、上位 2、3、5 番目の 3 クラスを抽出した。ただし、分析には、Can-Do リストのアンケートに回答した 92 名を用いた。

2.2 試験内容について

オンラインテストの特徴として、両テストはどちらも受験者の能力に合わせて出題する問題を変化させる。その結果、従来スタイルのテストに比較して、試験時間を短縮して、受験者のスコアを算出する仕組みとなっている。GTEC テストは、リスニングとリーディングの 2 スキルを最大 30 分で測定する。出題数は受験状況によって異なる、とされている。得点は各スキル 250 点で、2 スキルの総合は 500 点満点である。

一方、TOEIC オンライン試験は、リスニングが約 25 分、リーディングが約 37 分の構成で、合計約 60 分である。問題は、各スキル 45 問で、UNIT ONE では共通の問題セット 25 問が出題され、UNIT TWO では UNIT ONE の正解状況に応じて、受験者ごとに異なる問題セット 20 問が出題される。得点は、各スキル 495 点、合計 990 点満点である。なお、スコアの意味はマークシート方式と同じとされている。

3. 結果

3.1 TOEIC オンライン試験のスコアと GTEC スコアの比較

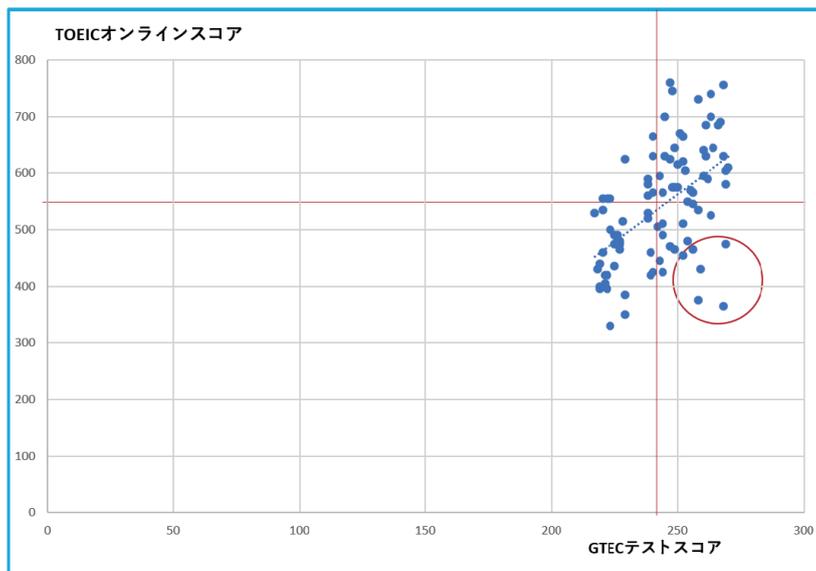
表 (1) は、GTEC テストと TOEIC オンライン試験の記述統計をまとめたものである。受験者 92 名の GTEC テストの平均点は 243.53 (標準偏差 15.90)、TOEIC オンライン試験は 540.92 (標準偏差 102.04) となった。

表(1) GTEC テストと TOEIC オンライン試験の記述統計結果 (N=92)

GTEC テスト	リスニング	92	151	122.21	13.26
	リーディング	99	146	121.33	11.22
	総合得点	217	270	243.53	15.90
TOEIC オンライン	リスニング	155	435	295.11	57.20
	リーディング	110	380	245.82	64.27
	総合得点	330	760	540.92	102.04

この2つのテストの相関分析をした結果1%水準で有意となり、ピアソンの相関係数は、.518と一定の相関が確認された。下記図(1)は、2つのテストの受験者92名のスコアの分散を散布図で示したものである。

図(1) GTEC スコアと TOEIC オンラインスコアの散布図

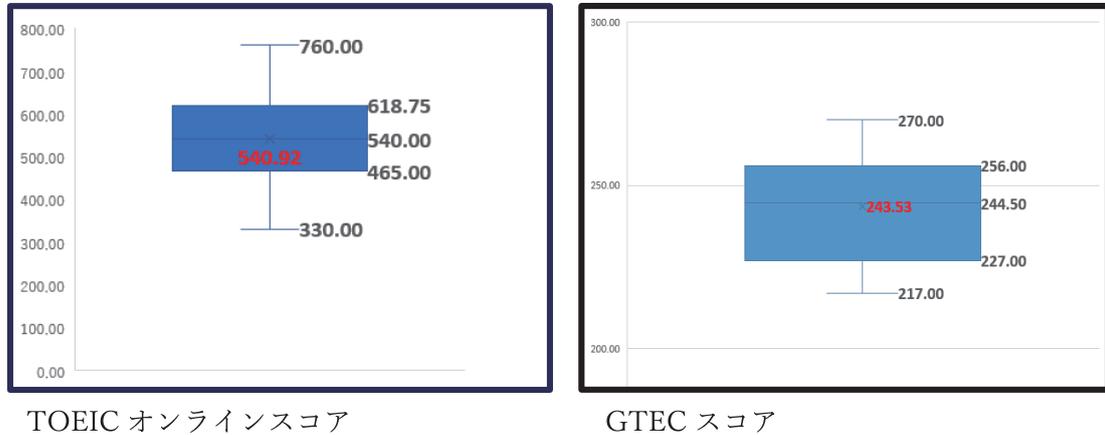


縦軸が TOEIC オンラインスコア、横軸が GTEC スコアを指している。この散布図から、GTEC スコアが上昇すると、TOEIC オンラインスコアも一定して上昇する右上がりの傾向が見てとることができ、相関分析の結果の通り一定の相関が視覚的にも検知される。

一方、各テストの平均点に軸を引いて受験者の分散の傾向を確認したところ、右下の丸で囲った GTEC で高得点を獲得した4名程度が TOEIC オンラインでは点数が平均よりも低く出ており、GTEC による英語の習熟度別クラス編成への疑念が生じた。そこで、下記の図(2)のように箱ひげ図を作成し、今回実施した TOEIC オンラインと GTEC スコアの分布の比較を

行った。

図 (2) TOEIC オンラインと GTEC のスコア分布比較



箱ひげ図は受験者のスコアを 4 等分にして、データのばらつきを視覚的に表示するものである。箱の高さは、全データの半分の受験者を示している。両方の箱ひげ図を比較すれば、TOEIC オンラインの方が、上下とも箱までの距離が長くなっており、TOEIC オンラインの方が、GTEC よりもばらつきが大きいことが分かる。しかし、どちらのテストも外れ値¹を表す受験者は認められない。さらに、TOEIC オンラインおよび GTEC スコアとも、中央値が平均値とほぼ同じ数値を示しており、最小値から最大値まで、ほぼ上下均等に分散していることが見てとれる。

3.2 学生アンケート

受験者の GTEC スコアを TOEIC 予想値に換算して比較し²、スコア差の大きい学生を抽出すると、GTEC スコアに比較して TOEIC オンラインスコアが 100 点以上低い学生が 15 名、TOEIC オンラインスコアが 100 点以上高い学生は 8 名であった。このような個人による点数の違いがどのような要因によるものであるかを検討するために、学生アンケートを実施した。

学生アンケートは、Google フォームを使って実施し 81 名の回答があった。両テストに対して「実力が発揮できたと思いますか」という問いを行った結果、GTEC テストでは「発揮できなかった (49.4%)」「わからない (40.7%)」の回答が合わせて 90.1%であった。(図 (3) 参照) TOEIC オンライン試験では「発揮できなかった(32.1%)」「わからない (38.3%)」の回答が、合わせて 70.4%であった。(図 (4) 参照) 両テストともに、実力を「発揮できなかった」「わからない」と感じた学生がかなり多かったことが分かる。

図 (3) GTEC テストに関する学生のアンケート結果

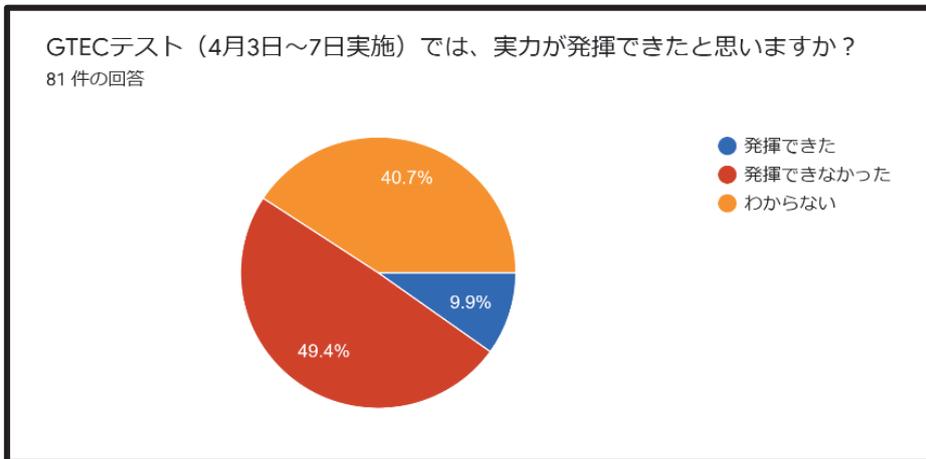
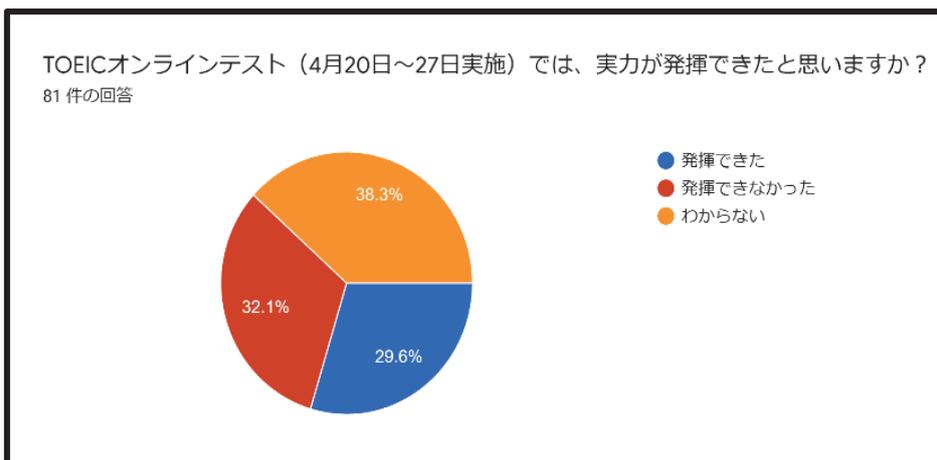


図 (4) TOEIC オンライン試験に関する学生のアンケート結果



一方、「実力が発揮できた」と回答した学生の割合を見てみると、GTEC テストでは 9.9%、TOEIC オンライン試験では 29.6%で、TOEIC オンライン試験に、「実力が発揮できた」と感じた学生が多かったことが分かる。これは、先に GTEC テストを受けた後に TOEIC オンライン試験を受けたために、オンラインによる試験形式に慣れたことに要因がある、と予想できる。また、TOEIC オンライン試験の受験者は、第 1 週目授業の課題として本学で導入しているオンラインによる学習ツールである ALC NetAcademy Next で「TOEIC 問題形式の模擬テスト」を行っていた。従って、オンラインでの TOEIC の問題形式にある程度慣れていたということも原因であると考えられる。

TOEIC オンライン試験に、「実力が発揮できた」と感じた学生が多かった点について、さらに考察してみたい。集中力の持続と試験時間の長さの関連について、TOEIC マークシート式（リスニング 100 問・45 分の試験の後にリーディング 100 問・75 分の試験が行われる）

では、従来から、受験時間の後半で集中力を維持できなくなる受験生がいることが指摘されている。

しかしながら、集中力は時間の長さの問題だけではないことが、今回、受験後に実施したアンケート調査（回答数 81）によりうかがえる結果となった。60 分の TOEIC オンライン試験について、実力を発揮できなかった理由（複数回答可）として、「集中力が続かなかった」（18 人・22%）と「問題形式に慣れていなかったので戸惑った」（17 人・21%）が多かった。その一方で、30 分の GTEC テストについて、「集中力が続かなかった」（28 人・35%）、「問題形式に慣れていなかったので戸惑った」（22 人・27%）となり、試験時間の短い GTEC テストのほうに、より多くの学生が「集中力が続かなかった」と答えていることから、「集中力」については、試験時間の長さの問題だけではないことがうかがえた。

TOEIC と GTEC という、出題形式の異なる試験についてのアンケート結果から、集中力の持続には、出題形式も関係している可能性があると考えられる。GTEC テストでは日本語で出題形式の説明が行われた直後に、英語の問題が始まるため、30 分の中でも Part A、Part B、Part C と出題形式が変わるごとに、日本語から英語への切り替えに受験者が戸惑い、集中力が途切れた可能性が考えられる。一方、TOEIC オンライン試験は出題形式の説明が英語で行われるため、新しい問題への移行が比較的スムーズに行われているのではないかと考えられる。

3.3 経年比較

入学時の全学統一試験の結果の経年比較を概観する。2014-17 年のマークシート式（約 2 時間）の TOEIC 試験では、990 点満点で平均点は約 472 点であった。2018-19 年のキャンパス内 PC で行われた GTEC テスト（約 30 分）では、500 点満点で平均点は約 241 点であった。自宅 PC での受験となった 2020-21 年の GTEC テストでは、平均点は約 244 点となり、キャンパス内受験の年より、3 点高い数値であった。

2021 年 4 月の自宅 PC での TOEIC オンライン試験（受験者 92 名）の平均点は 540.92 点、この 92 名の 4 月の GTEC の平均点は 243.53 点、全学の平均点は 243.96 点であった。調査対象グループも全学も GTEC スコアはほぼ同じであることから、全学の平均点も調査対象グループの 540 点と同等であろうと考えられる。

2018-19 年と 2020-21 年の GTEC の平均スコアの差が、キャンパス内受験と自宅受験の差があるとしても、僅かに 3 点であることから、近年の新生の英語力に大きな変動はないものと推測される。ゆえに、従来のマークシート式の TOEIC 試験の平均 472 点と TOEIC オンライン試験の平均 540 点を比較すると、オンライン試験の方が明らかに高いスコアであると言える。

表 (2) TOEIC L&R のオンライン試験とマークシート式のスコア比較

	トータル	Listening	Reading	L-R(差)
TOEIC L&R オンライン試験 2021年4月の平均点 (受験者: 92名)	540	295	245	50
TOEIC L&R マークシート式 2014-2017年4月の平均点 (受験者: 入学時の全新入生)	472	246	226	20
スコアの差	68	49	19	30
*オンライン試験 990点満点 約1時間 L 45問 約25分 R 45問 37分				
*マークシート式 990点満点 約2時間 L 100問 約45分 R 100問 75分				

TOEIC オンライン試験とマークシート式の平均スコアの比較を続けると、トータル・スコアの平均点はオンライン試験では540点、マークシート式では472点で、差は68点であった。受験時間が、マークシート式の2時間から、オンライン試験では1時間に短縮されたことで、試験の終盤まで集中力を維持しやすくなった可能性がひとつ考えられる。オンライン試験とマークシート式のトータル・スコア差の内訳は、リスニング49点の差、リーディング19点の差であった。

次に、各試験でリスニングとリーディングのスコア差を比較すると、オンライン試験では50点差、マークシート式では20点差となり、オンライン試験の方が差が開いている。教室のスピーカーで英文を聞くよりも各自のイヤホンやヘッドホンで聞く方が、集中しやすく聞きとりやすいことが考えられる。ゆえに、受験環境の改善によって、リスニング・スコアが伸びた可能性がひとつ考えられる。出題方法の違いはあるけれども、特にリスニング・スコアの差の大きさについては、集中力を維持しやすい最初の時間帯であることに加えて、集中力の持続と試験時間の長さの関連から、リスニングの試験時間が約45分から約25分に短縮されたことも影響している可能性が考えられる。

また、TOEIC 試験を運営する IIBC (国際ビジネスコミュニケーション協会) の方の説明によれば、TOEIC オンライン試験では前半の UNIT ONE の共通セットで後半の問題の難易度が決まる。後半の UNIT TWO の異なる問題セットで、たとえば、難易度の低いセットでは、易しい問題が中心でチャレンジングな問題が少し含まれるとのことであった。ゆえに、オンライン試験では難易度の低いセットの受験者は正解できる問題の割合が増え、高得点は取れないけれども、全員同じ200問を解き、未解答や不正解が多くなるマークシート式ほどには低い得点にはならない可能性が考えられる。

以上、今回の両 TOEIC 試験の数値を比較すると、リスニングもリーディングも、オンライン試験の平均スコアの方が高いことから、両試験とも990点満点ではあるけれども、オンライン試験の方がマークシート式より点数が出やすいということは確認できたと言えるだろう。

う。今回の調査に協力してくれた学生は、2 時間のマークシート式 TOEIC は未受験である。将来的には、2 時間のマークシート式の TOEIC 試験と 1 時間のオンライン試験の両方を受験した学生のスコア比較とアンケート調査をする必要があると考える。

4. Can-Do リストのアンケート分析

2019 年より、岡山大学では、広島大学他で作成された Can-do リスト³を参考にしながら、GTEC スコアに基づく岡山大学独自の Can-Do リストの作成に取り組んでいる。(アンケート項目に関しては、末尾の「参考資料」をご覧ください)。

リスニングに関しては、Q1 は「How are you?などの簡単な挨拶や質問を理解できる」、Q11 は「内容や構成が複雑であっても、自分の専攻分野の講義や報告を聞いて理解できる」というように、番号が進むにつれて難易度が高くなり、内容が日常的なものからアカデミックなものになっている。リーディングに関しても同様で、Q1 は「簡単な案内用看板を見て意味を理解できる」、Q11 は「自分の専攻分野の非常に専門的な論文を読んで情報や意見を取り出すことができる」のようになっている。学生は各項目に対して、「まったく当てはまらない」を 1 とし、「非常に当てはまる」を 5 とする 5 件法でアンケートに回答する。

このアンケートを毎年 4 月の新入生入学時の GTEC 受験の際に実施することにより、教員は「学生が自分の英語力に関してどのような認識を持っているか」を把握することができる。そして学生は「自分の英語力で今できること」の内容についてより具体的に知ることができ、また英語力をさらに伸ばさせたい場合は次の学習目標が設定しやすくなる。

今回は、この Can-Do リストのアンケート分析を、被験者の学生 92 名に関して行った。学生たちは、TOEIC オンライン試験と GTEC テストの両方を受験している。そこでまず、2 つの試験それぞれに関して、学生たちをそのスコアによってグループに分類した。そして、TOEIC オンライン試験と GTEC テストにおける、Can-Do リストのリスニングとリーディングの 11 項目に関する、各スコアレンジグループの 5 件法の回答の平均値を算出し、両テスト間における数値を比較した。

スコアによる分類は、ベネッセコーポレーションの発表している GTEC-Can do list による分類⁴に従った。また比較する上で、GTEC のスコアは、学生の入学時のスコアをそのまま使用した (この数値を G とする)。一方 TOEIC オンライン試験のスコアは、岡山大学で使用している GTEC と TOEIC の換算式⁵を用いて、TOEIC スコアから GTEC スコアに変換したものを使用した (この数値を T とする)。

その結果、リスニングにおいては、T のスコア平均点が約 153 点、G のスコア平均点が約 122 点というように、両者の平均点の差が 31 点ほどあるものの、スコアレンジに該当する学生数が少ないという一部の例外を除いては、難易度の低いアンケート項目から高いアンケート項目に移行するにしたがって、T に関する各項目の平均点と G に関する各項目の平均点が、ほぼ同様な形で減少していることが分かった。

表 (3) リスニングに関する Can-Do リストのアンケート分析結果

レベル	人数	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11
1(0-59)	0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
2(60-99)	6	4.2	3.7	3.7	3.5	3.5	3.2	3.2	2.3	1.8	2.0	1.8
	0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
3(100-119)	34	4.8	4.4	4.1	4.0	3.8	3.7	3.4	2.9	2.4	2.1	2.0
	4	4.3	3.8	3.5	3.0	4.0	3.3	3.3	2.0	2.0	2.3	2.0
4(120-139)	42	4.7	4.4	4.0	4.0	3.8	3.5	3.2	2.7	2.3	2.4	2.1
	21	4.4	3.9	3.5	3.6	3.4	3.2	2.9	2.4	2.0	2.0	2.1
5(140-159)	10	4.7	4.2	3.9	3.8	3.8	3.4	3.2	2.7	1.9	2.2	1.8
	35	4.8	4.5	4.1	4.0	3.8	3.5	3.2	2.7	2.3	2.0	1.9
6(160-179)	0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	27	4.9	4.6	4.3	4.3	3.9	3.9	3.7	3.3	2.6	2.5	2.2
7(180-199)	0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	5	5.0	4.4	4.4	4.0	4.2	3.2	3.0	2.2	1.8	2.8	1.6
8(200-250)	0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	1	4	4	4	4	4	4	3	2	2	3	2

(上段：GTEC スコアに関するアンケート結果、下段：TOEIC オンライン試験のスコアを GTEC スコアに換算したものに関するアンケート結果)

リーディングに関しても同様に、T のスコア平均点が約 135 点、G のスコア平均点が約 121 点というように、両者の平均点の差が 14 点ほどあるものの、難易度の低いアンケート項目から高いアンケート項目に移行するにしたがって、T に関する各項目の平均点と G に関する各項目の平均点が、ほぼ同様の形で減少していることが分った。

このことから、岡山大学の Can-Do リストアンケート分析の観点から、TOEIC オンライン試験と GTEC テストとの間には、ある程度の相関関係があるということが言える。さらに、TOEIC オンライン試験も、GTEC テストと同様に、英語力を測る指標としての外部検定試験の候補になり得る可能性がある。

表 (4) リーディングに関する Can-Do リストのアンケート分析結果

レベル	人数	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11
1(0-69)	0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
2(70-89)	0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	1	3	2.0	1.0	3.0	1.0	2.0	1.0	4.0	3.0	2.0	3.0
3(90-109)	15	4.7	4.4	3.9	3.8	3.7	3.5	2.9	2.5	2.1	1.9	2.0
	13	4.7	4.6	3.8	3.8	3.8	3.4	2.8	2.4	1.8	1.5	1.7
4(119-129)	57	4.7	4.4	4.0	4.0	3.8	3.5	3.3	2.8	2.3	2.3	2.1
	22	4.6	4.2	3.9	3.9	3.8	3.5	3.4	2.9	2.3	2.1	2.1
5(130-149)	20	4.7	4.2	4.1	4.0	3.8	3.7	3.4	2.9	2.4	2.2	1.8
	32	4.8	4.4	4.2	4.0	3.8	3.4	3.3	2.5	2.3	2.2	1.8
6(150-189)	0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	24	4.8	4.4	4.2	4.1	3.8	3.8	3.6	3.1	2.5	2.8	2.3
7(190-219)	0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
8(220-250)	0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(上段：GTEC スコアに関するアンケート結果、下段：TOEIC オンライン試験のスコアをGTEC スコアに換算したものに関するアンケート結果)

5. 結び

今回の調査によって、相関分析、スコア散布図や箱ひげ図による分析、Can-Do リストのアンケート結果分析から、TOEIC オンライン試験のスコアと GTEC スコアとの間には、中程度の相関があることが示された。また、TOEIC オンライン試験のスコアは、マークシートを利用した TOEIC テストのスコアより高めに出ることが示唆された。さらに GTEC においては、受験時における問題の説明が日本語で行われるため、受験生は問題が変わるたびに日本語から英語への切り替えに戸惑い、それが受験上の支障になっている可能性があることも示唆された。

オンラインテストは、試験時間が短縮され集中力が維持しやすい、結果がすぐ分かる、そしてリスニングにおいてはイヤホンやヘッドホンを使用することにより英語が聞き取りやすくなる等、多くの利点がある。今回の調査から、TOEIC L&R オンライン試験が大学生の英語力を測る指標として外部検定試験のひとつとなり得る可能性が示唆された。さらに、習熟

度別クラス分けとしての活用も考えられる。今後も調査を継続することにより、TOEIC オンライン試験、GTEC テスト、その他の様々なオンラインテストの特性について検討していきたい。そしてオンラインテストを効果的に活用して、大学全体としてより有効性の高い授業を展開していきたい。

注

- 1 マイクロソフトエクセルを用いて作成された箱ひげ図では、四分位範囲(全データの50%)の1.5倍を超えた場合、外れ値(x)が表示される。
- 2 換算式については、学内で使用しているものを利用した。TOEIC スコアを T 、GTEC スコアを G とすると、次のようになる。 $T=(G+137.5)/2.836$
- 3 Can-do リスト作成に関しては、鬼田ほか (2017)、東京外国語大学 投野由紀夫研究室 (2012) を参照した。
- 4 ベネッセコーポレーションの GTEC-Can do list のスコアレンジに関しては、ベネッセコーポレーション (編) (2013) を参照した。
- 5 換算式については、同上 (注2)。

謝辞

TOEIC オンライン試験の実施に関して、ご協力いただいた是近成子先生に感謝を申し上げます。また、IIBC (国際ビジネスコミュニケーション協会) の担当者様、そして岡山大学学務企画課教育支援グループの皆様、および調査に協力してくれた学生の皆さんに心から謝意を表します。

参考文献

- 大年順子・劔持淑・寺西雅子. (2020). 「岡山大学 GTEC を用いた Can-Do リストの開発」.
『岡山大学全学教育・学生支援機構教育研究紀要』5 巻, 44-59.
- 鬼田崇作・榎田一路・上西幸治・草薙邦広・阪上辰也・田北冬子・吉川りさ. (2017).
「e ポートフォリオシステム Mahara を用いた「広島大学英語 Can-do リスト」の活用」.
『広島外国語教育研究』第 21 号, 121-135.
- 東京外国語大学 投野由紀夫研究室. (2012). 「CEFR-J を活用するための ‘Can Do’
Descriptor リスト」
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/092/shiryo/_icsFiles/afielldfile/2012/09/24/1325972_2_3.pdf
- ベネッセコーポレーション (編). (2013). 『GTEC Listening/Reading 概要』
http://w3.u-ryukyu.ac.jp/daikyo-c/_src/sc878/82f82s82d82b8AT97v.pdf

参考資料

表 (5) 岡山大学の Can-Do リストアンケート項目 (リスニング)

Q1	“How are you ?” “Where do you live ?” “How do you feel ?” といった簡単な挨拶や質問を理解できる
Q2	ゆっくりと配慮して話してもらえれば、近く of 場所までの道順を理解できる
Q3	自己紹介を聞いて (耳慣れない人名や地名でなければ) 相手の名前や出身地等を聞き取ることができる
Q4	空港や駅などで予定変更や呼び出しなどのアナウンスを聞いて内容を理解できる
Q5	内容を知っている話題であれば、テレビのニュースを聞いて内容を理解できる
Q6	トピックが身近で、構成がはっきりとしていれば、自分の専攻分野の講演を聞いて理解できる
Q7	映画やテレビドラマを見て (聞いて) 内容を理解できる
Q8	意見が異なる 2 人の議論を聞いて、双方の主張の要点や対立点が理解できる
Q9	テレビやラジオで初めて耳にするニュースを聞いて内容を理解できる
Q10	専攻分野に関する講義や報告を聞いて要点を理解できる
Q11	内容や構成が複雑であっても、自分の専攻分野の講義や報告を聞いて理解できる

表 (6) 岡山大学の Can-Do リストアンケート項目 (リーディング)

Q1	簡単な案内用看板を見て意味を理解できる (「EXIT」「Entrance」「STOP!」など)
Q2	電車やバス、飛行機等の時刻表を見て、出発/到着時間や行先を理解できる
Q3	事前に知っている話題であれば、新聞・雑誌を読んで内容を理解できる
Q4	友達からのメールを読んで内容を理解できる
Q5	レストランのメニューがわかる
Q6	自分の関心のある分野の簡単な文章を読んで特定の情報を見つけることができる
Q7	自分の興味があるホームページを見て内容を理解できる
Q8	初めて目にする話題であっても、新聞・雑誌を読んで内容を理解できる
Q9	自分の専攻分野の論文を読んで内容を理解できる
Q10	原書で長編小説を読んで内容を理解できる
Q11	自分の専攻分野の非常に専門的な論文を読んで情報や意見を取り出すことができる